

障がいのある方が

食

を通して 社会力を培い

地域貢献できる 環境づくり

事業の目的

障がいがあっても

「各々が持っている力を発揮して活動に取り組んでいる姿」を知ってもらう

障がいのあるなしに関わらず

「人としてあたりまえの生活をあたりまえに送ることができる社会」の実現



個食

戸食

粉食

孤食

固食

小食

濃食

虚食

子食

現在の進捗状況

「みんなで一緒に作って食べる」ことをメインとしていましたが、今夏より「自分の食べる分は自分で調理しよう」をモットーに、一人分の食材を各自に渡し、職員の見守りのもと、切る・調理する、ことを始めました。

「自分で全部できた！」ことで、自信をもって新たな活動へ取り組んでゆけることを願っています。

畑やプランターの夏野菜たちは、時々日々のお弁当への「プラス1品」となりました。

みんなが一番楽しみにしていたスイカは、小動物の襲撃に遭いながらも、なんとか1個収穫。

10月の地域交流会のための里芋がどれだけ収穫できるか、楽しみであり、心配でもあります。



今後の予定

- 9月下旬 いもほり 事業所で焼き芋
- 10月上旬 里芋収穫
- 10月17日(土) 地域交流会
- 11月23日(月) 新旭福祉まつり
- 1月 街の文化祭 など

